

TAGAMI KOUMINKAN DAYORI

地域づくり・人づくり・町づくり

豊かな自然に囲まれて

穏やかな清流「浅の川」と、緑豊かな「角間」の里山に囲まれて。

田上本町
田上本町第2
朝霧台
田上町
田上1丁目
田上2丁目

田上新町
田上公町
田上さくら並木
田上の里

太陽が丘・ひまわり

・あおぞら
・そよかぜ
・ゆうひみ

上若松町
若松町
若松町兼六台
若松町東
若松町第3
若松町1丁目
若松町2丁目

若谷町
下中島
もりの里さくら並木

旭町・上
中下

第111号

令和3年10月31日

編集・発刊 田上公民館広報視聴覚部 <https://tagamicc.jp/>

田上郷公園前の坂道（通称・学校の坂）を上ると、田上運動広場（旧田上小学校跡地）があります。坂道の上り口には右側に椿が咲き、上りきると水仙が咲いていました。見上げると桜（ソメイヨシノ）が満開です。浅野川方面の景色を眺めながら視線を右下に移すと桜の枝の向こうに田上小学校が見えます。この桜は御大典記念（昭和天皇即位の記念）として下田上尋常高等小学校の生徒により植樹されました。当時植樹された桜の石碑には「御大典記念碑」「昭和三年十一月十日」「下田上校保護會（※原文の護は略字）」と書かれています。現存している14本の桜の中には樹高およそ19m、樹齢100年を超えるものもあります。ソメイヨシノの中では長寿だそうです。

植樹されてから90年以上の時を経ても毎年満開の花を咲かせている桜に、静かな力強さを感じました。

二ツ寺 琴栄



「田上運動広場の桜」

気になる
樹



～ソメイヨシノの豆知識～

ソメイヨシノはエドヒガンとオオシマザクラを交配させて生まれた品種。

1995年に発表された遺伝子解析の結果、全国のソメイヨシノは全く同じ遺伝子を持つ「クローン個体」であるという事実がわかりました。

江戸時代末期に誕生したソメイヨシノは、同一のソメイヨシノから接木して作られたもの。このため同じ遺伝子を持ち、気温に対して同じ反応を示すことからサクラ前線を形成することができています。



課外活動

野球系編



Liners

田上ライナース

田上ライナース（1年～6年生、選手37名）は金沢市学童野球連盟東部地区9チームの中の1チームであり、毎年上位に名を連ねる実力ある野球チームです。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、練習時間を制限される期間があったり、目標としていた大会が中止になるなど選手・関係者のみなさんにとって非常に残念な一年になったことと思います。しかし、子供たちは目標を見失わず、短い時間での練習を工夫と熱意でカバーし、努力を重ね心身共に強く成長しています。

本年もコロナ感染症が収まらず、1日2時間までの練習時間の中で元気に明るくのびのび力いっぱいプレーし、結果を残しています。





今年の2大（春季・夏季）大会では県大会へ進むなど子供たちの活躍は素晴らしいものがあります。

6年生にとって今シーズン最後の公式戦は例年なら9月に開催されます。しかし、コロナの影響により9月30日までまん延防止重点等措置が発令され、1カ月遅れでの開催となりました。なかなか気が抜けない状況ですが、開催されたことにひと安心。

6年生は小学生最後の公式戦を全員野球で全力プレーし、良い思い出を作ってもらいたいものです。

中村敬一



環境出前講座 「地球温暖化&家庭から始めようエコライフ」

7月13日(火)金沢市環境政策課・ゼロカーボンシティ推進室の南友貴氏を講師に表題の環境出前講座が行われました。金沢市の平均気温が100年間で約1.6℃上昇し、世界・日本平均と比較して温暖化が進んでいる。それは温室効果ガスで、地球の気温が上がるためである。温暖化が進む中で、大切なことは温室効果ガスの排出量の削減と気候変動(温暖化)備える必要がある。

金沢市の家庭から排出される二酸化炭素の量は全国平均を上回っている。そこで、金沢市では2050年までに金沢市の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする、ゼロカーボンシティ宣言をしました。

計画目標

2030年度に30%削減

2050年度までに実質ゼロ



支払いはオンラインを使う

支払いを請求書で行うと紙を消費することになる。支払いはオンライン上で済ませるのがスマートだ。オンラインやモバイルなら、自宅にいながら支払いも実行できる。

ひとりひとりがSDGsを意識し、行動するようになったらどうでしょうか。私たち個人レベルでもSDGsに関わる取り組みは出来ます。個人でもできるSDGsへの取り組みを紹介しておきます。(SDGsは身近なことから始めよう)

環境の取り組みを実施している企業の製品を買う

オンラインで検索すると、企業が持続可能で環境にやさしい取り組みを実行しているか確認できる。環境保護のためにも、環境に良い取り組みを行っている企業の商品を選択するのが良い。

電気を節約する

使っていないときは電源を完全にオフにして節約を心がける。使用のたびにコンセントを抜くのは大変なので、電源タップに差し込んでオンオフするのが便利だ。照明も、日中明るいときは消すようにするなど、必要のない電気は使わないようにする。

シャワーですませる

お風呂にお湯をはって入浴すると、5~10分のシャワーに比べ大量の水が必要になる。水を節約するためにも、できるだけ入浴は短時間のシャワーですませると良い。

生鮮食品や残りものは早めに冷凍を

生ものは腐りやすい。残飯は気を抜くと食べ忘れてしまう。食べものをムダにしないためには、早めに冷凍することだ。冷凍して保存できる期間を長くすることによって、食べものもお金も余計な消費にならないはずだ。





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



訳あり品を買う

形や大きさ、色が規格に合わない、いわゆる「訳あり品」は、そのような理由で廃棄されてしまうことがある。訳あり品が販売されていたら、妥協できるなら廃棄を減らすためにも積極的に購入するよう心がける。

肉や魚よりも植物を

植物に比べ、肉の生産は多くの資源が使われる。資源を過剰に消費しないためにも、肉や魚を控えて植物を積極的に摂取するのが良い。



詰め替えできるボトルやカップを使う

コーヒーショップなどで飲み物を購入する際は、詰め替え可能なマイボトルやカップを使うようにする。ショップによっては値引きしてもらえらることもあってお得であるし、環境にもやさしい。

エアコンの設定温度を気にかける

エアコンの消費電力は設定温度で変わる。夏は高め、冬は低めに設定するのが省エネのコツだ。エアコンが効率良く稼働できるようにするためにも、窓やドアのすきまはできるだけふさぐようにしよう。



熱中症にならないために



マイバッグ持参で買い物をする

日本ではレジ袋が有料化され、マイバッグの利用が推奨されるようになった。環境のためにもマイバッグの利用は有効だ。いつでも買い物中にマイバッグが使えるよう、常に持ち歩くことを心がける。

地元で買い物をする

買い物は、できるだけ地元ですませるようにする。地元での消費は、地元企業の雇用を守ることにつながるだけでなく、長距離トラックでの調達も減らせるためだ。



サマーサマー
ギャラリー
9/10(金)~16(木)
AM9~PM5
11日(土)は
AM10~PM1
田上公民館

サマーサマー ギャラリー

9月10日(金)~16日(木)の期間、田上公民館にて、田上・杜の里
小学校の児童が作成した夏休みの作品の中から選ばれた20点が展
示されました。

公民館長賞に『どうぶつオリンピック』深谷志歩さん(田上小)、
『キッテ船』中村一太さん(杜の里小)。校長賞に『カワセミ』古館
璃央さん(田上小)、『オリンピック貯金箱』村田愛翔さん(杜の里
小)。あと優秀賞には16名の方が選ばれました。受賞者の皆さん、
おめでとうございます。

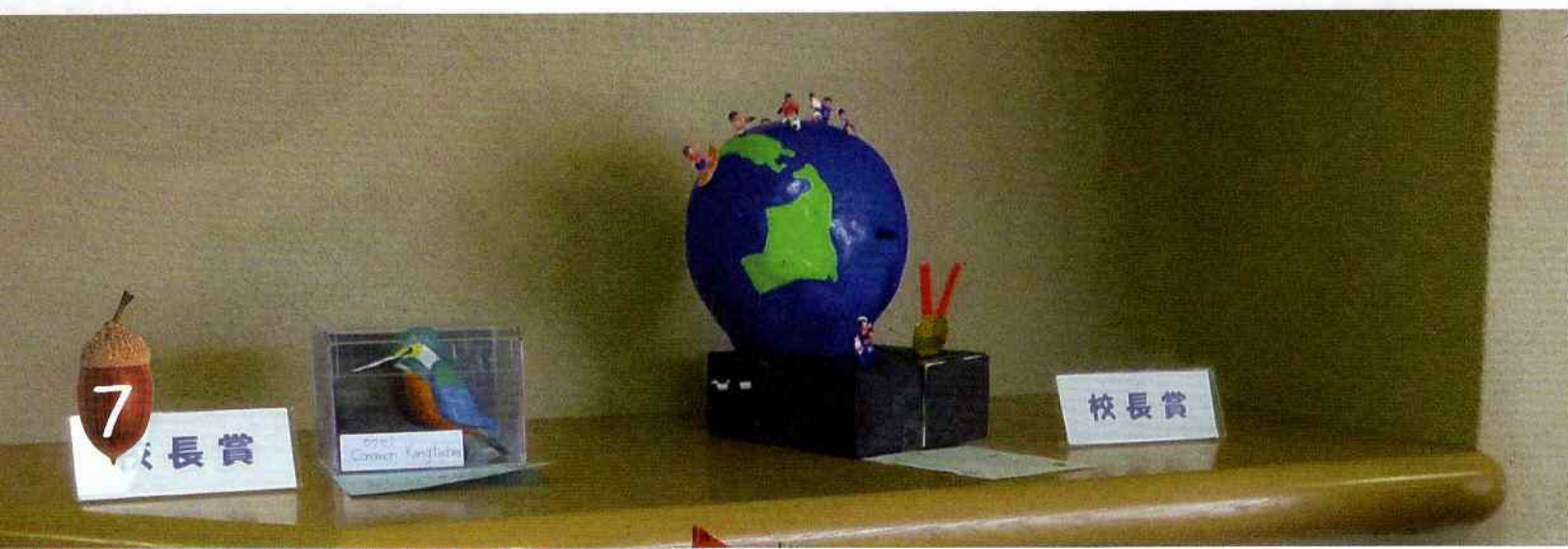




どれも素晴らしい力作ぞろいでしたが、全体の印象としては、やはりこの夏の東京オリンピックの影響を受けた作品が目立っていました。

今回の夏休みは、コロナ禍の中、感染防止のため夏祭り等のイベントがほとんど開催されなかったり、外出を自粛するよう求められたりと、子供たちにとっては退屈で残念なものだったであろうと思っていました。しかし、展示された様々な作品を子供たちが制作している姿を想像すると、みんなそれぞれのアイデアや工夫で、きつと楽しく充実した夏休みを送ることができたのではないかと思います。

渡辺晃佑



里山の生き物

今から15年ほど前、6月初旬畑の水溜用の水槽の上の伸びた柿の葉にモリアオガエルが粘液を泡立てて作る泡で包まれた卵塊が産みつけられていました。(湖沼と間違えているのかな) それ以後毎年来ています。モリアオガエルは、天然記念物に指定されている地域もある、日本固有のカエルです。

場所は、かつては田上小学校の児童が通学していた森道の近くです。近くには、シエア金沢・集合住宅が建っています。今年も、小さな水槽にやってきました。孵化したオタマジャクシは、そのまま下に落下して泳ぎ出す。そして1ヵ月ほどでカエルの姿になり、やがてどこかに去っていきます。生息場所の森林に人の手が入り、また近くに湖沼のある森林も無くなり開発が進んでいますが、ここ田上には、まだまだ自然が残されているようです。ほっ！

編集後記

令和3年度前期の公民館は、コロナ禍の影響により多くのイベントや行事が中止・縮小となり、広報担当としてもお伝えする記事の構成に悩むこともありましたが、広報視聴覚委員の皆様方の協力により無事に111号の発刊を迎えることができました。

館報に対するご意見、ご要望等ございましたら広報視聴覚部までお寄せいただければ幸いです。

Vol.111

発行日/令和3年10月31日
発行人/広報視聴覚部

部長	三浦 清宏
副部長	松原 正恵
	ニッ寺 琴栄
委員	渡辺 晃佑
	河嶋真由美
	小泉 淳一
	越野 明
	吉田 美雪
	長門 清志

特別編集員 彦坂 哲郎

ご意見・ご感想・ご希望をお聞かせください。
下記FAXまでお寄せください。
Kanazawa Tagami Community Center
〒920-1156 金沢市田上の里2丁目3番地



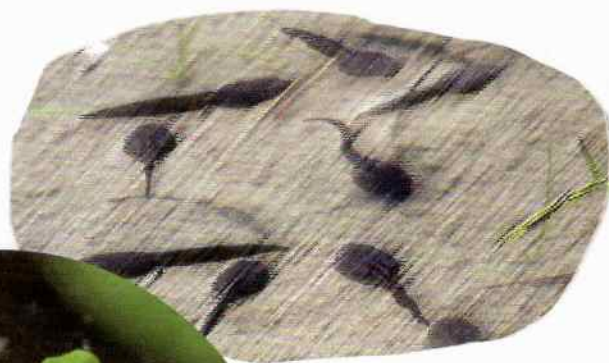
TEL

076-261-1331

FAX

076-261-1516

<https://tagamioc.jp/>



moriaogaeru

